

報道機関 各位

「Pink Ribbon in おびひろ」の実施について

全国的に実施されているピンクリボンキャンペーンと同時期に、帯広市独自の取組として、乳がんの予防、早期発見、早期治療の重要性について広く周知啓発することを目的とする「Pink Ribbon in おびひろ」を実施しています。

この取組を通じて、より多くの市民に、がんの予防や早期発見、早期治療の重要性を理解していただき、定期的な乳がん検診の受診や自己検診の実施が帯広市民の習慣になることを目指します。

1 実施期間

令和元年 10 月 1 日（火）から 10 月 31 日（木）まで

2 実施内容

（1）乳がんの予防や早期発見、早期治療の重要性の啓発

「Pink Ribbon in おびひろ」のメンバーとして登録した、医療機関や企業や団体等とともに、「乳がんに関する理解の促進」や「月に 1 度の自己検診の推奨」、「2 年に 1 度の乳がん検診の勧奨」などの取組を行う。

〈具体例〉

- パネル展の開催、講座の開催、リーフレットの配布による乳がんに関する正しい理解の周知啓発。
- 乳がん触診モデル体験による、自己検診方法の啓発。
- 本庁舎市民ホールでの、帯広南商業高校書道部による乳がん検診の啓発作品の展示。
- 休日や夜間における乳がん検診の実施

（2）ピンクリボン大使の任命

乳がんに関する啓発活動を推進する役割を担う者として、おびひろ動物園のフラミンゴを「ピンクリボン大使」として任命し、大使を中心に啓発活動を推進する。

（裏面に続く）

3 「Pink Ribbon in おびひろ」のメンバーについて

(1) メンバー

病院や歯科医院、薬局、企業、患者会、高等学校、寺院、飲食店など
19 団体（9 月 26 日時点）

(2) 取組内容

前述の取組のほかにも各企業や団体が独自に活動を展開する。

〈具体例〉

- 自己検診を取り入れたストレッチの講座の開催
- 施設のライトアップ
- がん予防に関する映画の自主上映
- がん患者が参加可能な茶話会の開催

問い合わせ先

保健福祉部健康推進課 健康推進係

担当：藤本 （電話 25-9721）